

放課後等デイサービス自己評価表(職員)

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		
②	職員の配置数は適切であるか	3	1		・児童10人定員に対し児童指導員2人という国の定める人員配置基準以上の人事配置体制で、社会福祉士、介護福祉士など経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。
③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			・建物の構造が平屋であり、床など段差などない。また、廊下には各箇所に手摺なども設置されており、バリアフリー化されている。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		
⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・平成29年度より、保護者向け評価表を活用し保護者の方の意向の把握に努めています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		・事業所内玄関に設置されている、掲示板に掲示し公開しています。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	・今現在、第三者による評価は受けてはいないが、利用者及び保護者、社内(法人)の評価のみとなっています。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	4		・業務の都合上、研修等に参加出来ない状況、今後必要に応じて参加出来る環境作りが必要に感じる。 ・限られた職員で支援を行う為研修に参加する事は難しい。(利用者支援が午後から等の理由など)
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	5			・年2回実施している個別面談の際にニーズを把握したり、送迎時等の引継ぎの際の情報を基に支援計画を作成しています。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・週間プログラム作成にあたり、4名のチームスタッフで細部にわたり、話し合いを進めて行っています。 ・今年度より、新たに業務の担当制を設け、チームで行える環境が整っています。
⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	5			・それぞれ利用者の特性に合わせたプログラム内容を計画し、季節やその日のメンバーに合わせて変化させています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせに計画を作成しているか	5			・個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・活動の前後に職員打ち合わせを行います。始まる前に利用者の様子や活動の流れ、支援方法の確認しています。
⑯	支援開始後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			・支援状況の確認をし合い、終わった後に、その都度必要に応じて振り返りを行い、次のステップアップ改善につなげている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
⑱	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・概ね6ヶ月に一度、支援計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	3		・基本的に保護者の要望と児童の課題を考慮して、支援を行っている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		・開催される場合には児童発達支援管理責任者が出席しています。
㉑	学校との情報共有(年間行事・行事予定等の交換・下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応・トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			・送迎時に随時確認したり、学校からメールにて連絡を頂いたり情報共有をしっかりと行っている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4		・保護者と連携体制を密に行い、児童のケアを行っている。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		・保護者と連携体制を密に行い、児童のケアを行っている。
㉔	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		・保護者と連携体制を密に行い、児童のケアを行っている。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			5	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	・地域交流が行えていない状況であり、今後必要に応じて機会があれば考慮していきます
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3		2	・黒川地域自立支援協議会に参加しています。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・保護者と送迎時に保護者と情報交換や対応の工夫の仕方等、適宜行っている。

②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	4	
③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・契約時に説明を行っています。また随時不明な点は職員が説明するようにしています。支援の内容については支援計画の説明でお知らせしたり、年2回個別面談時にフィードバックの時間を設けています。
③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		
③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	
③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・苦情があった場合、職員皆で話し合う場を設け、迅速かつ適切に対応するよう努めています。全職員で共有を図っています。
③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・毎月活動の様子等を会報にてお知らせしています。 ・わかりやすい情報発信に努めています。
③5	個人情報に十分注意しているか	5			
③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・わかりやすい伝達を意識し、利用者及び保護者の方に伝えています。
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	・新型コロナウイルスの影響で難しい状況です。
③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		・新型コロナウイルスの影響で難しい。保護者に対して周知はしていない。施設の入口に、誰でも見られるようになっていきます。
③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	5			・年2回に利用者及び職員含めた訓練を実施しています。
④0	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で計画に記載しているか		4	1	・身体拘束を行う必要のある対象者は特におりません。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4	1	・保護者より、提出して頂いている処方箋の写しを情報共有しています。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・事例があった場合、報告書に記載、ミーティング及び職員会議を通して全職員で共有しています。